

梁川なぜ暑い？

伊達市梁川町 (約43℃)
福島市 (約67℃)
阿武隈高地
奥羽山脈
南風
郡山市 (約249℃)

● 中通りは阿武隈高地と奥羽山脈に囲まれ
熱気がこもりにやすい
● 北上するにつれて観測所の標高が低くな
り暖かい南風が入りやすい

※数値は主な観測所の標高

伊達市では、暑さ対策が進む。市によると、クーリングシェルター（指定暑熱

策に配慮しながら、子どもが楽しめるイベントを検討していきたい」と話す。

高気圧下の影響で、県内は2月、各地で気温が全国平均より高く、伊達市梁川町は全日本で7番目に高い38.6度を記録した。梁川は過去に県内最高の40・0度の観測をするなど、「暑いまち」として知られる。なぜ梁川は全国で上位になるほど気温が高いのか。専門家取材すると「盆地」「南風」などのキーワードが見えてきた。

昔は35度を超える日は年に数回で6月に90度を超えることは少なかったけどね。梁川に70年以内に住む草野さん(71)は話す。草野さんは県職員だった約30年前、気象庁委託を受けて約3年間、梁川で気

象観測をした。地球温暖化の影響があるのかも思っていたが、昔より暑さを感じた。日がいそいそと夏になる。梁川を歩くとき、畑の土がアツク見える。アメダスで域気象観測システムだ。周囲に建物や山が少ないので、日差しはこの毎日観測され続けている。福島地方気象台によれば、60年に農業気象観測所として設置された70年以降も、梁川は暖かい。資料が残っていないから不明だが、梁川のめりはりの福島気象台によると、地地形や風向きが影響している。気象台の小浜芳樹



気温35度以上の猛暑日となった伊達市梁川町。暑さ対策で日傘を差す人もいた＝22日午後2時半ごろ

月15日)で全て中止が占め、栗川は73位に入っている。40.0度を観測した日の栗川は、日の日照時間が約11時間で、午後2時まで南向きの壁が吹いていた。これらの要因が重なった、高温になったとみられている。

予報では今後気温の高くなり高い状態が続く、熱中症の危険性が高くなるという。小沢氏は括弧は「暑さ」の影響で家畜やワトリが卵を生まなくなったり、乳牛であれば乳が出なくなったりする。熱中症や農作物、家畜の管理に注意してもらいたいのと呼びかけている。(小嶋あみ)

康統宛手紙報告の中、右指摘する。梁川の中通りは阿武隈高地と奥羽山脈に囲まれており、熱気がこもりやすい。加えて標高が低いため「暖かき南風が入りやすい」という。

中通りの中でも梁川の気温が高いのは理由がある。中通りにある観測所の標高は、白河市が約355度、郡山市が約249度、福島市が約67度、梁川が約43度、北上するにつれ低くなり、梁川が最も低いところにある。白河より約300度高くなる。白河の低い方が、南風の影響を受けやすい。

県内の歴代最高気温は①梁川の40.0度（2023年8月5日）②梁川の39.7度（15年8月1日）③梁川と福島市の39.1度（梁川が15年7月14日、福島が23

▲ 7月23日 福島民友新聞掲載

梁川はなぜ気温が高くなるのですか？記事から読み取れる原因を書き出してみましょう。

(梁川を含む)伊達市ではどのような暑さ対策をしていますか？

「暑さ対策に配慮しながら、子どもが楽しめるイベントを検討していきたい」とありますが、皆さんならどのようなイベントを企画しますか？アイデアをまとめてみましょう。